

会員のひろば

題字：森 和恵

◇ぐんま教育のつどい二〇二二の「講演要旨」を読んで、大変まよって理解しやすかったです。オンラインの講演に参加したかっと思えました。

(甘楽町・松浦政子)

◇いつも充実した内容で考えさせられます。「SDGsを超えて」は大変興味深く読ませていただきました。

(沼田市・生方 博)

◇娘に「SDGs」は欺瞞だと言ってきました。資本主義と正面から向き合わなくてはと思ってきました。斎藤氏の「人新世の『資本論』」が世に出た時には驚きました。同感・共感を超えるものでした。

私が教員になった頃、戦争体験を持っている先輩教員が沢山居ました。となりの席の先生が突然「ねえ吉田君、戦争は本当に起こしてはいけないんだよ」と言ったことを思い出しました。忘れていたのに…。

(邑楽町・吉田秀司)

◇いつも考えさせられる、刺激になる内容で勉強になります。今回は特に、自身が直接関わった「教育のつどい」を取り上げていただき、改めてふり返ることができました。斎藤さんから、今のような学校教育ではダメなのだから

れているようで、発言には勇気がいりました。行動しない口先だけの取り組み、もう自己否定しかない。

それから、カーン・サバさんのメッセージ、彼女と毎日顔を合わせているけれど、このような思いを持っていることに感動しました。彼女はとも努力していますが、苦勞もいろいろあると思います。多文化共生といっても、教育現場でどこまで理解されているか、まだまだ教員は視野が狭いと思っています。

(前橋市・田口有理)

◇「近現代史ゼミ」が再開される由、楽しみです。コロナが下火になりますように…

(高崎市・大塚栄子)

◇須田さんの、私の本棚『看護の力』。小生、県立県民健康科学大学の看護学部生対象の教養科目(必修)に出講中なので、印象深く読ませていただいた。

(前橋市・岩根承成)

◇巷にオルナティブ・スクールを看板に掲げる「子どもの居場所」が増える中、玉村町のたんぼほ小学園のレポートに関心をもちました。既存の学校では対応しきれない事象が多い中、こういう活動と学校が連携できるような、その橋渡しをするような存在が、これから求められるのでしよう。県教委定例会議の傍聴記が興味深いので続けてほしいです。

現任校十三年目になりました。昨年度に引き

続き「魔法のプロジェクト」(東大先端研とソフバンクの共同プロジェクト)で生徒支援に取り組みます。高校普通科での「特別支援教育」の実践事例として、他校の励みになれるように、しっかりと研究したいと考えています。

(伊勢崎市・齋藤理一郎)

◇「発達障害について考える」を読みました。文中の「発達障害は時代の変化と社会的(産業的)要請があまり出したものである。もしかしたら、それは『障害』ではなく、社会のほうにこそ解決の方向性が問われるべき課題が…」という部分に共感できると思えました。

(高崎市・二〇孝絵)

◇昨年七月末、半年半活動した中国から帰国でも中国とはまだ縁が切れていなく、現在河北省石家荘市にある河北外国語学院(大学)、大連の日本語学校で自宅からのオンライン授業を行っています。四月からは立正大学で「考古学特講」を担当しています。立正大学での講義は通年で、前期を「日本国内の戦争遺跡」、後期は「海外に残る日本の戦争遺跡」に焦点をあてます。おりからのロシアによるウクライナへの侵略戦争、現代の戦争とかつての日本のアジアへの侵略戦争をかさねあわせながら、学生たちへ事実を伝えていきたいと考えています。

(高崎市・菊池 実)

◇坂田さんの論者がvery goodでしたね。

(前橋市・大貫正雄)